

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	地域福祉の充実		
	施策	2	障害者福祉	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 人権尊重に根ざした障害者の主体性と自立性の確立を推進します。
- 全ての市民が安心して平等に暮らせる地域社会づくりを目指します。
- 市民全員参加によるノーマライゼーションの実現に努めます。

2. 令和2年度の実施内容及びその成果



・令和2年度において「第5期障害福祉計画」の終期を迎えたことから、名張市共生地域デザイン会議及び名張市障害者施策推進協議会においてその進捗を検証するとともに、新たな課題を踏まえた次世代の計画とすべく「第6期障害福祉計画：令和3年度～5年度」の策定を行いました。

・障害者理解の促進については、コロナ禍にあって各種講演等が困難な状況にありましたが、令和元年度から「共生社会」をテーマに地域環境部と共同で実施してきた「トーク&コンサート」については、メディアを使った啓発としてゴールデンタイムの時間帯にケーブルテレビ制作の映像による啓発を実施しました。上述両協議会の委員からも今回の取組については、広く市民に啓発ができたとの高評価をいただき、継続的な取組に努めるようご意見を頂戴しました。

・障害者の就労支援については、障害者人材センターの取組や福祉的就労の中から19人の方々を、就労継続支援A型作業所や一般企業への障害者雇用として推進することができました。

また、アグリ雇用推進協議会が実施している「みはたメイハンランド」の就農活動においては、就労につなげることが困難な方の居場所や、農福連携の体験農業としての利用も増加してきています。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	58.0	
	成果	54.0	52.5	54.2	57.8			95.0%
地域で自立した生活につながった障害者の数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	102	
	成果	89	90	94	95			46.2%
就労につながった障害者の数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	103	
	成果	44	50	57	77			55.9%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・共生社会を目指す取組として、障害者理解の促進を優先的課題として取り組んできたところです。「障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合」は、一定目標値に達する状況にあり、昨年度実施したメディア等を活用した啓発活動を継続して実施することが必要です。

・住み慣れた地域で自立した生活につなげるためには、生活基盤となる地域資源の拡充と福祉人材の確保が課題となっています。また一方では、自立を支えるための収入を得るために、就労継続支援サービスにつなげたり一般就労の障害雇用につなげるなど、障害者の個性に応じた就労へのマッチングが必要です。また、就労につなげた障害者の就労定着支援も今後の課題となっています。

5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和3年度以降)



・第6期障害福祉計画の成果目標に掲げた「福祉施設の入所者の地域生活への移行」や「福祉施設から一般就労への移行等」の目標を達成すべく毎年、検証と評価を行い、関係機関との連携を図りながら推進します。

・地域資源の充実に向け、国・県の補助金を活用し、グループホーム等の新設を支援します。(令和3年度補助金申請予定：4年度建設2施設)

・新たなメディアを活用した障害者理解促進の啓発活動を検討するとともに、昨年度に制作・放送した内容のDVDを、教育関係や各種団体に配布し、啓発教材としての活用を推進します。

・「みはたメイハンランド」における農福連携の取組を推進し、ロビー販売などの充実を図るとともに、「福祉のお店」の周知に努めます。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含まれます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	地域移行のための安心生活支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じた創意工夫により「地域生活支援拠点」を整備し、障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築しました。 (令和2年度実績) ・地域生活支援拠点取扱要綱策定 ・コーディネーター配置 1名	2,898	1,644	3,223	1,725
一般	障害者医療助成事業	市民部	保険年金室	心身障害者の方に保険診療の自己負担の全額又は2分の1を助成しました。 (令和2年度実績) ・心身障害者の自己負担医療費助成 県補助対象分23,441件、市上乗せ負担分17,239件 ・65歳以上重度障害者の医療費助成 県補助対象26,593件、市上乗せ負担分26件 ・証明手数料(40,250件) ※令和2年度は、補助金申請期間の変更により11か月分	197,702	115,242	220,370	126,724
一般	タクシー料金・自動車燃料費助成	福祉子ども部	障害福祉室	重度障害者の社会参加促進のため、タクシー料金又は自動車燃料費の一部を助成しました。 (令和2年度実績) ・タクシー助成 利用者515人 ・燃料費助成 利用者411人	8,141	8,141	9,000	9,000
一般	福祉手当給付事業	福祉子ども部	障害福祉室	重度の障害がある障害児に障害児福祉手当を、また、著しく重度の障害がある者に特別障害者手当を支給しました。 (令和2年度実績) ・特別障害者手当 27,350円/月 対象者72人 ・障害児福祉手当 14,880円/月 対象者45人	30,685	7,671	32,000	8,000
一般	介護給付費等	福祉子ども部	障害福祉室	居宅介護、療養介護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、共同生活介護、施設入所支援に必要となる給付費を支給しました。	1,112,682	280,450	1,124,000	281,000
一般	訓練等給付費	福祉子ども部	障害福祉室	自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活介護に必要となる給付費を支給しました。	573,522	163,495	562,000	140,500
一般	自立支援医療費	福祉子ども部	障害福祉室	身体障害者(児)・精神障害者が心身の障害を除去・軽減すること等を目的とした医療費を給付しました。 (令和2年度実績) ・更正医療給付 1,146件 ・育成医療給付 105件	63,901	16,017	68,048	17,048
一般	補装具費	福祉子ども部	障害福祉室	在宅の身体障害者に対し、補装具を給付・修理することで、身体機能をカバーし日常生活の向上を図りました。 (令和2年度実績) ・利用件数 133件	9,850	2,462	11,000	2,750
一般	療養介護医療費	福祉子ども部	障害福祉室	常時医療と介護を要する者につき、病院において行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医療管理の下における介護及び日常生活上の世話を行いました。また、療養介護のうち、医療に係るものを療養介護医療として提供しました。 (令和2年度実績) ・利用人数 8人	5,784	1,446	5,500	1,375
一般	相談支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者等の福祉に関する各般の課題について、障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言、その他の障害者福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行いました。また、自立支援協議会を設置し、中立・公平な相談支援事業の実施のほか、地域の関係機関との連携強化、社会資源の開発・改善等を推進しました。更に、知的・精神障害者に対し、成年後見制度の申立費用の一部を補助しました。 (令和2年度実績) ・成年後見制度利用支援事業 6件 ・相談支援事業負担金 2名分 ・計画相談支援(サテライト)事業委託 2法人3事業所 ・計画相談事業 762件	26,049	14,215	27,240	15,009

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	意思疎通支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	手話通訳者の配置及び派遣、点訳・音訳奉仕員養成講座の開催等により聴覚障害者等の日常生活の便宜と社会参加促進を図りました。 (令和2年度実績) ・手話通訳者派遣回数 90回 ・要約筆記者派遣回数 5回 ・点訳奉仕員等養成講座(音訳講座 20回、フォローアップ講座 18回)	3,098	1,700	4,687	2,562
一般	日常生活用具給付事業	福祉子ども部	障害福祉室	在宅の重度身体障害者及び重度知的障害者(児)に、日常生活用具を給付することにより日常生活の便宜を図りました。 (令和2年度実績) ・利用件数 1,691件	18,882	10,305	18,700	10,302
一般	移動支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者(児)がその能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出支援を行いました。 (令和2年度実績) ・対象事業所 12事業所 ・利用者 127人	19,186	10,471	20,000	10,992
一般	地域活動支援センター事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者(児)が、その能力に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動、生産活動の機会提供及び日中における活動の場を確保しました。 (令和2年度実績) ・地域活動支援センター事業(3事業所、利用者68人)	18,876	10,302	20,000	11,019
一般	社会参加促進事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者総合支援法に基づき、障害者の社会参加と共生社会の実現を図るため、点訳・音訳による市広報等の情報提供や障害者スポーツ大会の開催等に取り組みました。また、自動車の手動装置等を改造する費用や自動車運転免許取得に必要な費用の一部助成を行いました。 (令和2年度実績) ・点訳・音訳広報発行 24回 ・スポーツ教室 ・障害者等理解促進研修・啓発事業 ・障害啓発番組制作 ・自動車改造・操作訓練	1,627	1,114	1,924	1,063
一般	日中一時支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	日中において監護するものがないため、一時的に見守り等の支援が必要な障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図りました。 (令和2年度実績) ・日中一時支援事業 16事業所 ・利用者 197人	19,886	10,853	25,080	13,818
一般	歩行訓練等事業	福祉子ども部	障害福祉室	視覚障害者(児)に対し、歩行訓練士を有する法人に事業委託し歩行訓練等の日常生活上必要な歩行訓練及び生活訓練を実施しました。 (令和2年度実績) ・歩行訓練等給付 15人×10回	1,430	781	1,650	910
一般	障害者相談支援事業(発達障害分)	福祉子ども部	子ども発達支援センター	子どもの発達を心配する家族からの相談に対応し、適切な支援につなげる初期相談機能を確保するため、言語聴覚士等専門職を配置している社会福祉法人に事業を委託し、初期相談の段階で家族に対して療育の理解を促し、円滑に専門相談につなぐことができる体制を確保しました。 (令和2年度実績) 【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 ・相談支援施設開設(244日) ・相談支援等件数(403件)	5,000	2,942	5,000	2,834
一般	障害児支援体制整備事業	福祉子ども部	子ども発達支援センター	発達障害児等及び家族への支援機能の充実と家族同士の交流や憩いの場の提供、保育士等支援者への技術的支援など、発達支援機能に必要な専門的な支援を行うため、言語聴覚士、作業療法士等専門職員を有する福祉事業所に事業委託を行いました。 (令和2年度実績) ・遊びの研究会(2回) ・家族交流憩いの場(8回) ・地域診療相談(1回)	11,000	2,265	11,000	6,233

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	障害者虐待防止対策支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	養護者、障害者福祉施策従事者、使用者等による障害者の虐待に関する通報を受け、障害者の保護、養護者に対する適切な支援や障害者虐待の予防及び早期発見、防止のための啓発を行いました。	1,914	1,914	2,247	1,204
一般	障害児通所支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	児童発達支援、放課後デイサービスなどに必要となる給付費を支給しました。 (令和2年度実績) ・児童発達支援 33,845千円 ・放課後等デイサービス 166,559千円 ・保育所等訪問 6,070千円 ・障害児相談支援 11,560千円	218,621	55,082	210,470	52,970
一般	民間社会福祉施設整備費借入金償還補助金(障害者福祉)	福祉子ども部	障害福祉室	障害者福祉施設を整備した民間法人に対し、施設整備に係る借入金の元金及び利子の補助を行いました。 (令和2年度実績) ・育成園成峯寮 ・児童寮はーと	9,609	9,609	900	900